

令和2年度 第1回 伊賀市総合教育会議

1. 日 時 令和2年7月21日（火）12時30分から14時30分
2. 場 所 いがっこ給食センター 元気 会議室
3. 出席者 伊賀市長・教育長・教育委員・副市長
担当所属（企画振興部・財務部・健康福祉部・建設部
・産業振興部・人権生活環境部・教育委員会事務局）
4. 教育会議
 - ◎給食試食
メニュー：麦ご飯、牛乳、竹輪の天ぷら、ほうれん草の磯部和え、じゃがいものうま煮
 - ◎給食試食後給食センター視察
給食センター元気所長により施設概要、調理作業場説明・・・会議室前廊下にて視察
 - ◎協議・調整事項
 - （1）学校給食にかかる地域食材の活用対応について
 - （2）学習環境における新型コロナウイルス感染の予防対策について
 - （3）その他

事務局長 ただいまから令和2年度第1回総合教育会議を開催いたします。
開会にあたり、市長より挨拶をお願いします。

市 長 コロナというような想定をしないような状況の中で皆さんそれぞれが頑張っていると思います。学校現場においても、子どもたちも頑張っています。
今日はいがっこ給食センター元気を見学し、そして食事もさせて頂きました。大変おいしく頂戴いたしました。見学では、これまでの給食で行っていた調理法とは進化した調理で大量に安心安全の食材を提供して頂いており、職員の皆様にも労いを申し上げたいと思います。
コロナという事で教育現場、学校現場では様々な影響が出ていることは承知の通りですが、そうした中で私たちは前を向いて行かなければいけないという事として、子どもたちをしっかりと育てていかなければならないという中で、市としても色々な施策を立て議会で予算議決を頂いて行っているところです。
給食については、年度内は教育負担を少しは減らしていこうと無償という事にしました。また、産業振興の面からも子どもたちに本当の伊賀の産材の美味しいものを食べてもらって大きくなってもらおうという事で、伊賀産材をしっかりと使って行きましょうという事もお願いしています。
今日は議会の全員協議会がありまして、玉滝小学校と阿山小学校の統合についてもしっかりと説明させていただき、こんな状況の中でも色々なことをやってい

くという事の大事さを思う所であります。

今日の事項では学校給食にかかる地域食材の活用対応について、学習環境における新型コロナウイルス感染の予防対策について等々上がっておりますので、皆さんと一緒に前向きな話をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

①学校給食にかかる地域食材の活用対応について

給食センター所長より給食センターの概要、給食センター栄養教諭より、資料により給食の地元食材の活用状況等について説明。

市長 美味しそうなメニューで、一食当たりの単価が上がってくると思いますが、年間を通して地産材の予算があって、それを月々に配分していくという事なのですか。同じ地産材を使っても、単価がそれほど高くないものと、あるいは小さくても牛肉のステーキくらい出すことが出来るのか、その辺は予算的にはどう考えていますか。

事務局 給食センターでの食材は一食単価 260 円として一食単価×給食回数で給食費を頂いています。たくさん伊賀牛を使う日には高くなりますので、他の日で少し抑えるという形で献立を立てています。

市長 年間の予算によって、地産材で今日は肉をたくさん食べさせようという時には全体の中で調整をするということですね。

事務局 そうです。例えばジャガイモのうま煮で、肉じゃがという名称を使っていないのは、お肉は少なめでその代わり主菜となるちくわを使っています。お肉をたくさん使う肉じゃがを提供する時は主菜をなくしてそちらをメインにしています。毎日たくさんのお肉は使えないですし、一日に食べる肉の量が決まっていますので、1 か月平均して食べるように計算しながら行っています。

市長 全体の金額を平均して作っていくという事なのですね。日によって格差が大きくなってもいいので伊賀牛ステーキでも考えて頂いたら。子どもの時に本当に美味しいもの、地域の誇りになるようなものを食育としてやっていくという事はいい事だという風に思います。

出張で出かけた先では、その土地の食材を自信満々に言われますが、申し訳ないけどいまだかつてうまいなと思ったことはあまりありません。つまり我々は、意識はしていませんが、伊賀のものがいろいろな方の努力により、普段から本当に最上級のいいものを食べているという事です。

そういう美味しいものが伊賀にあるのだという事を子どもたちにもしっかりと五感で知らしめて頂ければと思いますので、工夫のほうをよろしくお願い致します。

副市長 普段、総合教育会議に参加していなかったのですが、こういう機会に参加させて頂いて大変ありがたいと思っています。給食も大変美味しかったので喜んでいきます。

今年、県も地元の食材、特に魚ですね。それから肉も使って無料で、学校給食で提供するという事です。その中でも高価な食材、伊勢真鯛とかいうのもあるように聞いていますので、そうした食材も入れて、単価も落とせる事になるので是非お願いしたいと思います。よろしくお願いします。

事務局 2学期以降にその魚を使わせていただく予定で、献立に取り入れています。

教育委員 素敵な給食だよりをありがとうございます。

おたよりに書いてある様にコロナウィルス対応で子どもたちが給食を自席で一人ずつ前を向いて食べているということですが、リラックスするはずの時間帯が少し緊張もある様な食事の時間になっているかと思うのですけれども。

献立や給食の事を色々考えて頂く中で、こういう時期だからこそその工夫をして頂いているようでしたら教えて頂きたいのと、そういう緊張感が少しある給食の時間を送っている子どもたちの変化。何か給食を通して見えてきた変化みたいなものがありましたら教えて頂けませんか。

事務局 1点目ですが、6月は1品多い日とかもありましたが、子どもたちが配膳する中で一つのお皿にたくさんのを盛っていくのはちょっと難しいのではないかと、何日かは献立数を減らすことや、ソースを別にかけるメニューの折には、そのことを調理で行って、子どもたちが一回で盛り付けができるように献立を変更しました。

2点目につきましては、私は4月に移動してきましたので以前と比べたことを詳しくお答えできませんが、今は前を向いておしゃべりは基本的にはせずに食べるという形になっています。

おたよにも載せていますが、こんな時だからこそ、味わってしっかり食べられる時間が確保できるように「しっかり味わって食べようね」という事をお便りや口頭で伝えさせてもらっています。あとは給食の始まる前に子どもたちに「今日の給食はこんなだから味わって食べてね」という様な形で指導して給食を食べているという状況です。実際に残食が増えたか減ったかというのは、ちょっとまだ見えてきていないという状況なので、詳しくはお伝え出来ないところです。

教育委員 ありがとうございます。色々な工夫をして頂いて子どもたちがより安全に配膳が出来たり、より短い時間で食べられたり、ご配慮いただいているということがよく分かりました。ありがとうございました。

教育委員 今日は本当に美味しい給食をありがとうございました

私は名張出身なので当時の給食はパンが主に出てくる状態だったのですが、こんな形で伊賀米のご飯を食べられるというのは本当にいい事だと思いました。数日前に子どもに聞かれたのですけれども、伊賀の郷土料理って何？と聞かれた時にあれ郷土料理って何だったかなと郷土料理は思い当たらないという、「何食べたい？」と聞いたら「何作れるの？」と言われてちょっと残念だったのですが、

今の時代に考えられないのですが、給食が一番の食事であるという子が伊賀にいるというのは聞かせてもらっています。色んな事を考えて食事を作ってもらって子どもたちが楽しんで食べている姿が想像できて今日は良かったと思っています。話は戻るのですが、郷土料理というのを考えられたりして、給食の中に取り入れられているのかというのを少しお伺いしたいのですけれども。

事務局 郷土料理として献立表に載せる事は、最近なかったと思いますが、昔は大豆でたんぱくを取っていたという話とか、伊賀市では昔から豆腐田楽が食べられているよというような事で取り入れられています。

教育委員 限られた予算の中で色々と工夫されて作られていると感じさせてもらいました。そんな中でも、「こういうものが伊賀の中で大事にされている食事なのだ」ということが子どもたちに分かってもらえることが取り入れられたらと思いました。予算に関してはここに市長が居てくれますので、是非是非ここで私たちが訴えながら、子どもたちにより良い牛肉が、伊賀牛がたくさん食べられる様をお願いしたいなと思っています。ありがとうございました。

市長 素材が美味しい所ですから、それらを使ったものが郷土料理と言ってもいいんだろうと思いますけど、あえて言うならば冬場になってくるとのっぺい汁とか、ゴボウと牛肉の炊いたのが郷土料理かなあという所ですが。やはり郷土料理と言えばすき焼きでしょう。

事務局長 それでは今年度から新たな取り組みとなった、学校給食地域食材デーにつきまして共同して実施します産業振興部から説明を受けたいと思います。

農林振興課 伊賀スマイル給食につきまして、その概要とねらいという事でお話させていただきます。

伊賀スマイル給食は伊賀肉や白鳳梨、アスパラガスなど、単価が高く学校給食にはふんだんには使えない様な食材を子どもたちにまた教職員の皆さん方に食べて頂きましょうということです。

概要は本年の9月から年度末の3月まで。1か月に1回。個人負担の給食費は260円が平均ですけれども、そこに260円上乗せをする形で520円相当の食材を使った給食を食べて頂きましょうということです。

提供については教職員も含めて7千人で、予算約1300万になっています。

ねらいにつきましては短期と長期があります。短期のねらいは、コロナウィルスの影響を何とか軽減しようとするものです。産業振興のサイドから申しますと食材、野菜なりお肉なりの販売価格がどうしても下がってしまうという所があります。そこで消費の底上げをしたいということがあるのと、生産者の方々がこのような苦しい状況で生産意欲を失ってしまう、それが一番怖いという風に思っておきます。そういった底上げをしたい、これは生産サイドからの目的です。また学校側では、地産地消を進めて頂きたい、食育を推進して頂きたいという事です。子どもたちは大人になりましたら未来の消費者になる訳ですから、子どもたちに地元食材の素晴らしさというものを学んで頂きたいと思っています。

具体的には生産者の生の声を学校現場でお話し頂くというのが一番良いのですが、コロナウィルスの関係でなかなか難しい現状がありますので、お肉、野菜、果物といった素材ごとに紹介する生産者の生の声、生産現場の様子をお届けするDVDの映像を作っています。8月末か9月の初めに完成予定でして、それを各学校にデータとDVDの両方を提供させて頂き、それで栄養教員の先生また、それぞれの先生方に総合学習や食育授業でお使いいただきたいと思っています。

長期のねらいとしましては生産、消費、地域の中でのそれぞれの流通ルートに無駄をなくして計画的なものにしていきたいという事があります。

今回のスマイル給食の打ち合わせをJAさん、栄養教諭の先生方と何回か重ねて参りますと、いつ、どんな食材が提供できるのかという事が事前に分ると地元食材を活用した献立が立てやすいというお声、また生産者の側からするといつどんな献立があるという事が事前に分かっていたら、そのように生産計画を立てられるというお声を頂いています。こういった事が年間通じて計画的にできると、生産側としましては無駄が無くなってまいります。また利益も確実に入る訳ですから経営が安定するというメリットがありますし、消費者の側からみると、高品質のものが安定的に消費できるという事になります。

この地域内での生産消費のしっかりした流通ルートを築いていくという事が長期的な目的かと思っています。

そしてもう1つ長期的な目的はやはり心だと思っています。今日もDVDの作成でアスパラ農家の方の所へ行かせて頂いていたのですが、「やはり学校給食で子どもたちが自分の作ったアスパラを食べてくれるというのは喜びだ、誇りだ。」とおっしゃっておられました。また消費する側の子どもたちにとっても、市長が申しました様に子どもの時にこんな素晴らしい給食を食べていたんだという事は大人になっても思い出に残る、他の地域に出かけて行ったとしても、地域の自慢はできるという様な誇りを抱き続けるというような意味があるのではないかと思います。

先程、栄養教諭の先生から地元食材を積極的に活用頂いてるというお話も頂きましたし、いごっこ給食センターのパンフレットを見せて頂くと施設自体に地産地消を進めていく機能を持たせているという様な事も紹介頂いています。私ども産業振興部としては教育委員会の皆さん方と連携して一層進めていきたいというふうに考えていますのでよろしくお願い致します。

教育長 教育委員会としては本当にありがたかったなと思っています。
普通の給食は、260円ですけれど、このように足して頂くと子どもたちにも伊賀肉の美味しさなり、ももう少し考えたメニューもできるという事で栄養教諭とも本当にありがたいという話をさせて頂いていました。
いがっこ給食センター元気、いがっこ給食センター夢での給食では伊賀産、三重県産の使用を大体3割位しかできていませんが、国でも地産地消を大体3割を目指しているという事で、地元のものを使うことを更に進めようとする、どうしても値段が高くなったり、数が揃わなかったりというような事があってなかなか進んでいかないということで、そういう点では難しいのかなと思います。

事務局長 次に事項の2、学習環境における新型コロナウイルス感染の予防についてを議題といたします。

②学習環境における新型コロナウイルス感染の予防対策について

学校教育課長より資料により学校現場での新型コロナウイルス感染の予防対策の取り組み状況を説明。

教育委員 学習の進み具合についてはどうなっていますか。

事務局 行事を調整したことで順調に進んでいます。

教育委員 コロナ禍で子どもたちへの心のケアはどうしていますか。

事務局 家庭でのDVの見極めなど、個々に注意し対応しています。DVへの対応家庭は存在しますがこの期間での問題は発生していません。
休みの期間に学習方法が分らず、学習時間の取れない子がいましたが、現在学校での対応で学習の遅れがとり戻されてきています。
また、ゲーム依存となる子がいました。学校が再開した当時は「早く帰りたい」という子に「なぜ」と確認すると「早く帰ってゲームがしたいから」と返答があるなどでしたが、現在は学校へ通学する中生活のリズムが戻りゲーム依存が減少しています。

教育委員 学習進度に差があるのかな。

事務局 前年の内容は済ませるようにしています。
補修も行っており進めていきたいのですが、コロナの2波、3波が心配です。振返りをするタイミングを設定したいと思います。

教育委員 中学校の修学旅行は何年生で行きますか。

- 事務局 中学3年生が修学旅行に行きます。
- 教育委員 事前学習などを行うことが修学旅行の学習目的となると思いますが、この時期どうなりますか。
- 事務局 修学旅行は、大切な体験学習になることから実施するよう考えています。時間をかけた事前学習は困難でも、帰ってからの振り返り学習などを考えていきたいと思っています。
- 教育委員 コロナ禍で学校の環境整備など現場が過重労働になると思いますが、他からの支援などはありますか。オーバーワークを減らすよう取り組んでください。
- 事務局 県に交付金に来て、人的支援が行われるようになりますのでスクールサポーターなどのスタッフ対応や学習支援の事業を進めていきたいと考えています。
- 農林振興ではスマイル給食の実施、福祉部の放課後児童クラブでの児童の保育、建設部では学校施設の長寿命化、企画振興部は公民館分館対応、人権生活環境部では人権同和教育などと、それぞれの分野でお世話になり連携した取り組みを行っています。
- 健康福祉部 学校休業中は、放課後児童クラブの保育時間や利用者が増加する中、クラブの運営に学校施設の使用や人的支援の協力で対応することができました。
- 市長 市からはコロナ対策で教育委員会に8億円の補正を行い事業の対応を行っていただくことになりました。
- 事務局長 ありがとうございました。
次に協議調整3その他につきまして、皆様から他にご意見等はございますか。
- 企画振興部 ギガスクール対応が行われますが、他に計画を考えられていることはありますか。
- 教育委員 端末は使っていますか。
- 事務局 施設の整備と教職員の研修を行い、先ずは、授業で使えるように対応していきたいと考えています。
- 教育委員 家庭で使えるようにし、2波、3波に対して今ある環境を活用できるようにならないのでしょうか。職員への研修の段階ではないと思います。

事務局 先ずは、学校で使えるようにし、インターネット環境のない子をカバーできるようにし、市として家庭にも発信できるように事業を進めていきたいと考えています。

事務局長 他にないようでしたら、最後に 事項4の「その他」につきまして、事務局からは何かありますか。

事務局 ありません。

事務局長 それでは、本日の協議をふまえ、引き続き事業推進に努めてまいりますので、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。
これで、令和2年度第1回伊賀市総合教育会議を終了します。
本日はありがとうございました。